

◎ 癌のパラメーター

1. **Oncogene C-fos Ab2** : 350ng or higher
2. **Integrin $\alpha 5\beta 1$** : 350ng or higher ※Screening & Mapping (60 ng)
3. **Acetylcholine Chloride** (Normal : >1500 μ g) : <1pg
4. **Hg (Mercury)** : 350mg or higher
5. **Virus Infection**
6. **Telomere (TTAGGG)** Cancer Cell Telomere = Normal Cell Telomere \times 5-10
※Telomere を正常な腕の部分で測定して 110ng 以下の時は、癌を疑い、他の癌のパラメーターを調べる。
7. **8-OH-dG** : 60ng or higher
8. **Folic Acid** : <1zg
9. **DHEA** : <5ng
10. **Ghrelin** : <5ng (2ng)
11. **IGF-1** : <5ng (2ng)
12. Strong Resonance with Microscopic Slide of Specific Cancer Tissue of Specific Internal Organ

他に **Glucose** (癌の所は、正常の 2 倍以上)、**p53(Ab-5)**、**Rb(Ab-8)**

Ki-67 (癌の増殖)、**VEGF** (癌の血管新生)、**cyclin E** (乳癌の増殖) **asialoGM2**

TGF- α (いくつかの**ヒト**の**ガン**で過剰発現している)

TGF- β (いくつかの**ヒト**の**ガン**で過剰発現している)

EGFR(Epidermal Growth Factor Receptor) は特に重層又は偽重層上皮の基底膜及び、扁平上皮で多く発現しています。EGFR は erbB 膜透過型レセプターファミリーに属し、細胞成長、分裂、分化の調節をしているといわれています。EGFR の分布から、その役割は、細胞増殖と、上皮表面の分化だと思われます。EGFR はカルシノーマのような固形腫瘍で過剰に発現します。
(**NSCLC40-80%** ; **Prostate 40-80%** ; **Gastric 33-74%** ; **Breast 14-91%** ; **Head & neck 90-100%** ; **Colorectal 25-77%** ; **Pancreatic 30-50%** ; **Ovarian 35-70%**)

Osteopontin (オステオポンチン) は、関節リウマチを代表疾患とする自己免疫疾患、骨疾患、がん転移などに関与しているタンパク質

アスベストに起因し、胸腔および胸膜に発生する癌(がん)である胸膜中皮腫の患者は、オステオポンチン(osteopontin)と呼ばれる糖たんぱくの血中濃度が高いことが、米医学誌「New England Journal of Medicine」10月13日号に報告 アスベストへの曝露が10年未満のグループは血中濃度が最も低く、10年以上になると濃度は2倍となり、中皮腫患者のオステオポンチンの血中濃度は早期の段階でも正常値の6倍であった。

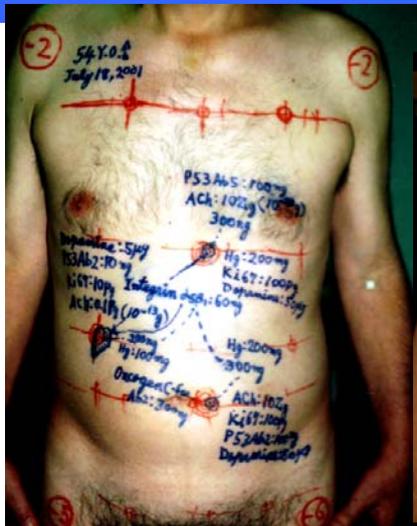
早期卵巣癌が血液検査で判明 エール大学の研究者らは卵巣癌のスクリーニングのための血液検査法を開発した。血中のマーカーは血清たんぱくのレプチン、プロラクチン、**osteopontin**、インスリン様成長因子IIの4つの蛋白質に基づく。106人の健常者と100人の卵巣癌患者(うち24人はステージI、II)を対象に試験を行った結果、早期卵巣癌患者ではプロラクチンとosteopontinは顕著に高く、レプチンとインスリン様成長因子IIは顕著に低かった。(ロイター2005/5/9)

HIV-1 (エイズウイルス)、**HTLV-1** (ヒトT細胞性白血病ウイルスI型)

◎腫瘍マーカー

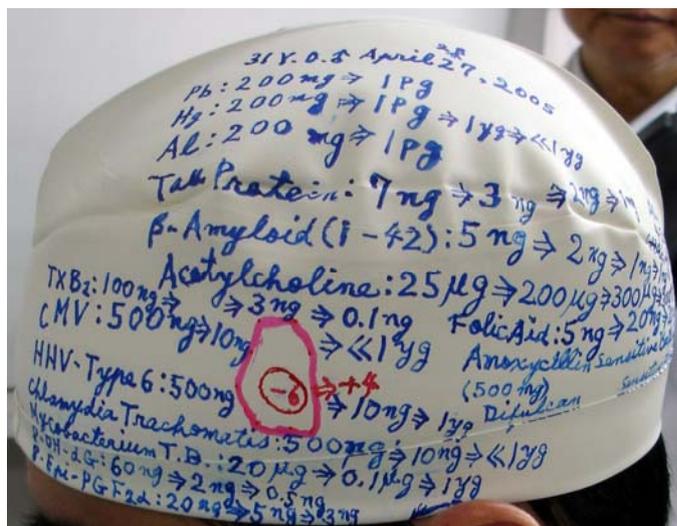
1. CEA (大腸癌、胃癌、肺癌、転移性肝癌、胆道癌、食道癌、乳癌、子宮癌、慢性肝炎、肝硬変、閉塞性黄疸、胆石症、消化管潰瘍)
2. PSA (前立腺癌)
3. AFP (肝臓癌)
4. NSE (Neuron Specific Enolase) 肺小細胞癌、神経芽細胞腫、神経内分泌系腫瘍の診断と経過観察に有用な血中腫瘍マーカー。(高値を示す病態:肺小細胞癌、APUDoma、神経芽細胞腫、肺良性疾患、胃潰瘍)
5. CA15-3 (乳癌)
6. CA125 (卵巣癌)
7. HPV (ヒトパピローマウイルス) **16型、HPV18型(子宮癌)** 扁平上皮癌にはヒトパピローマウイルス (HPV) が関与しているかもしれない 2006-03-17 00:00:00 皮膚癌の一種・扁平上皮癌 (SCC) 患者 252 人、基底細胞癌 (BCC) 患者 525 人、コントロール患者 461 人を対象にした調査の結果、**ヒトパピローマウイルス (HPV)** 感染と SCC の関連が示唆されました。調査の結果、コントロールに比べて SCC 患者の方において **HPV** に対する抗体が血漿中から検出される割合が高くなっていました (オッズ比=1.8、95%CI 1-3.1)。種類別に調査したところ、16 種類の **HPV** のうち、β タイプの **HPV** と SCC に関連が認められ、特に HPV のタイプ 5 と SCC のリスクに高い相関が認められました (オッズ比:1.8, 95% CI=1.0-3.1)。SCC とは異なり、BCC と **HPV** に関連は認められませんでした。
 ↳ News Source + [HPV subtype associated with squamous cell skin cancers](#) / EurekAlert
 ↳ Reference [Human papillomavirus infection and incidence of squamous cell and basal cell carcinomas of the skin. J Natl Cancer Inst. 2006 Mar 15;98\(6\):389-95.](#) 「タバコや酒を飲まない人における頭頸部癌にはヒトパピローマウイルス(HPV)が関与している可能性が高い」
8. HIV-1 (エイズウイルス)
9. HTLV-1 (ヒト T 細胞性白血病ウイルス I 型)

| Tumours showing high EGFR expression | |
|--------------------------------------|---------|
| ● NSCLC | 40-80% |
| ● Prostate | 40-80% |
| ● Gastric | 33-74% |
| ● Breast | 14-91% |
| ● Head & neck | 90-100% |
| ● Colorectal | 25-77% |
| ● Pancreatic | 30-50% |
| ● Ovarian | 35-70% |



大村恵昭教授による癌のスクリーニング及びパラメーター測定

◎アルツハイマー病関連の RCS



大村恵昭教授による
アルツハイマー病診断の
イメージ像

アルツハイマー病のパラメーター

- ① Acetylcholine: $\leq 100 \mu\text{g}$ ($\leq 200 \mu\text{g}$)
- ② β -Amyloid(1-42): $\geq 7\text{ng}$ (5ng)
- ③ アルミニウム (Al): $\geq 350\text{mg}$
- ④ L-Glutamic acid: $\geq 10\text{mg}$
- ⑤ 8-OH-dG : $\geq 10\text{ng}$
- ⑥ Tau Protein : $\geq 7 \text{ng}$
- ⑦ 8-epi-PGF₂α : $\geq 10\text{ng}$
- ⑧ Mycobacterium tuberculosis, Chlamydia trachomatis, CMV, HHV6 etc.
- ⑨ L-homocysteine

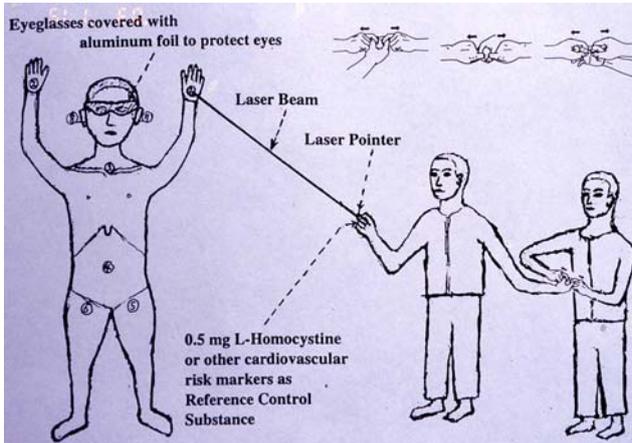
BDORT で
アルツハイマー病の
診断と治療に
用いられる
物質

他に β -Amyloid(1-40)、Acetylcholine Esterase (脳内のアセチルコリンの不足はアルツハイマー病と関連があるとされ、アセチルコリンエステラーゼの阻害剤が治療薬として用いられている) Insulin (インスリンに関する2つの画期的な発見により、アルツハイマー病の発生機序の解明と治療法の開発に新たな道を開く可能性が示唆されている。アルツハイマー病専門誌「Alzheimer's Disease」3月号に掲載された米ブラウン大学病理学および内科准教授の Suzanne de la Monte 博士らの研究によると、インスリンが膵臓だけではなく脳内でも産生され、アルツハイマー病患者では脳内のインスリン産生能が障害されていることが明らかになった。)、ソマトスタチン (脳内のソマトスタチンは加齢によって減少し、アルツハイマー病患者脳では顕著に低下していることが知られています。今回の発見とあわせて考えると、加齢によるソマトスタチン減少がネプリライシン活性を低下させ、その結果、A β 蓄積をひきおこすという可能性が浮上してきます。)、歯周病菌等があります。

◎心臓病に関連した RCS



大村恵昭教授による心臓病のスクリーニング結果



- 心臓病スクリーニングのパラメーター
1. L-Homocyst(e)ine 0.5mg
 2. Cardiac Troponin I 3ng
 3. Cardiac Troponin T 3ng
 4. CRP (C-Reactive Protein) 3ng
 5. 8-OH-dG
 6. Folic Acid
 7. Cholesterol
 8. TxB2
 9. Lp(a) 冠動脈疾患、脳梗塞、閉塞性動脈硬化、糖尿病、腎疾患（慢性腎炎、ネフローゼ）
 10. PAI-1 DIC、血栓症、肝疾患、悪性腫瘍

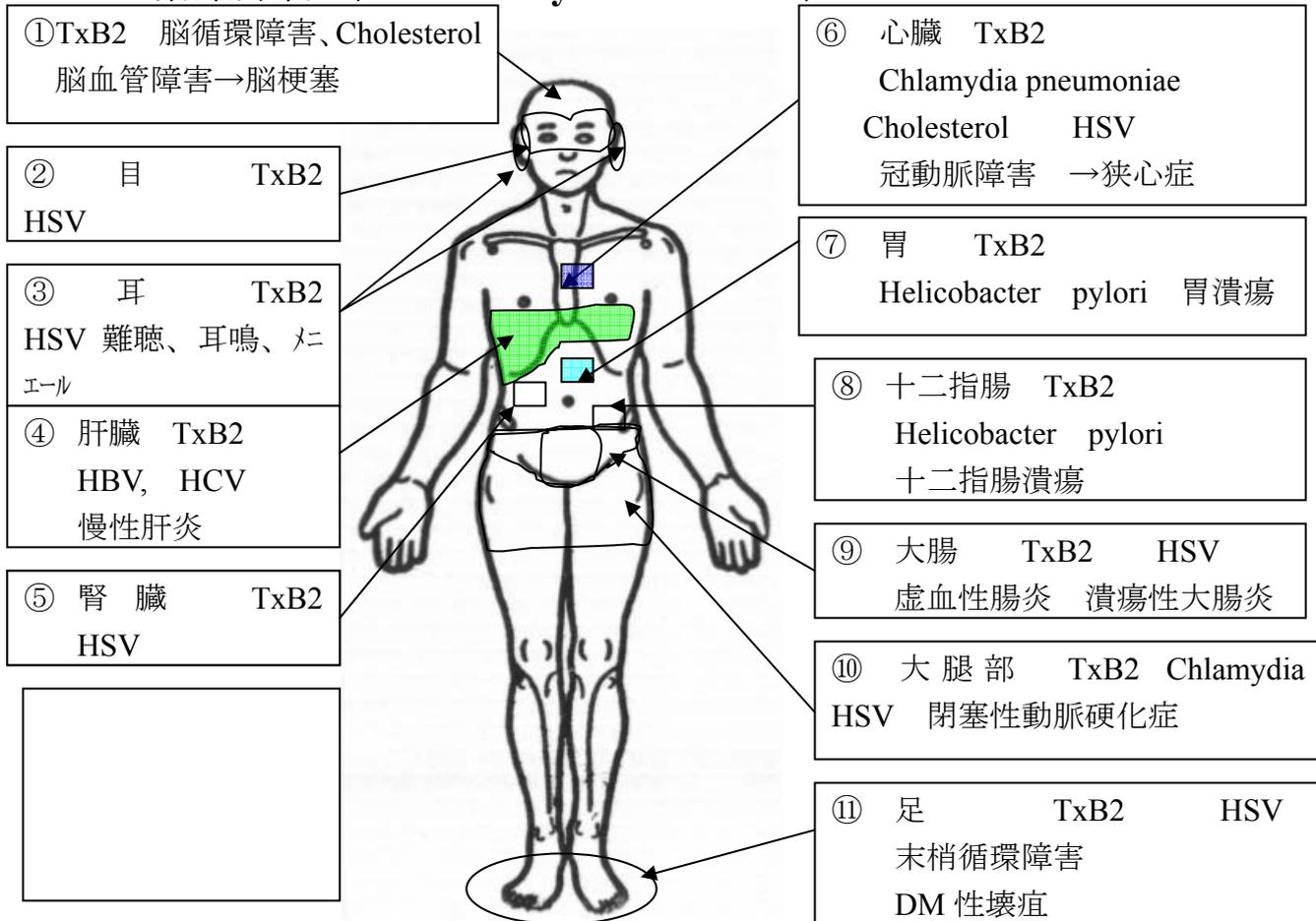
| | TnT(-) | TnT(+) |
|--------|--------------------|-----------------------------------|
| BNP(-) | 正常 | 現在は心不全状態でないが、心筋傷害が生じており将来心不全状態となる |
| BNP(+) | 心不全状態だが心筋傷害はなく予後良好 | 現在、心不全状態であり将来さらにひどくなる |

心筋トロポニン T と BNP 同時測定～
心不全の状態把握、予後予測が可能
Medical Tribune [2003年2月27日 (VOL.36 NO.9) p.30]
・ TnT は微小心筋傷害を反映
・ BNP は現在の心不全の状態を反映

- ・ IL-6 研究目的：心臓病（心筋梗塞等）、Castleman 病、慢性関節リウマチ、Crohn 病など
 - ・ Cocksackie Virus B3 1.気道症候群 2.心筋炎 3.心嚢炎 4.発疹性疾患 5.無菌性髄膜炎 6.流行性筋痛症
 - ・ Placental growth factor protein(PLGF) 「PLGF(placental growth factor protein)レベルが高い急性胸痛患者または急性冠症候群患者は、PLGF が低い人に比べて最初の症状発現から 30 日以内に死亡または心臓発作を起こすリスクがそれぞれ 3.34 倍、4.8 倍高い」。2004年1月28日の JAMA 誌に発表された研究成果。従来の循環器疾患マーカーである CRP よりも、PLGF を測定した方が心臓発作をより効果的に予測できる可能性がある。
- 他に歯周病菌、Angiotensin II、TNF-α、ANP 等が心臓病の研究に利用される。

循環障害、動脈硬化で用いられる RCS

循環障害 (Circulatory Disturbance)



検査計画

Lp(a)
PAI-1
Cardiac Troponin T
Cardiac Troponin I
L-homocystine
CRP

予防計画

- ① EPA/DHA (EPA- α)
- ② I-10 (抗クラミジア)
- ③ L-homocystine が高い時は、葉酸+Vit.B6

◎ 痛みと関連物質について

An intensive network of serotonin and **L-tryptophan** was discovered, by using the "Bi-Digital O-Ring Test Molecular Identification and Localization Method" in different parts of the body. In general, in painful areas, frequently **Serotonin** is markedly reduced, **L-tryptophan** is markedly increased, and **Substance P** is markedly increased, while in non-painful areas, **Serotonin** is markedly increased, **L-tryptophan** is markedly decreased, and **Substance P** is markedly decreased.

(Omura Y. "Bi-Digital O-Ring Test Molecular Identification and Localization Method" and its Application in Imaging of Internal Organs and Malignant Tumors as well as Identification and Localization of Neurotransmitters and Micro-Organisms – Part 1, Acupuncture & Electro-Therapeutics Res. Int. J. vol.11, pp.65-100, 1986).

一般に、疼痛の場所では、セロトニンが顕著に減少し、**L-tryptophan** 及び **Substance P** は増大し、痛みのない場所では、セロトニンが増大し、**L-tryptophan** と **Substance P** は顕著に減少します。

L-Tryptophan → **L-5-HYDROXYTRYPTOPHAN** → **Serotonin**

痛みのある場所には **Thromboxane B2** が存在したり **重金属** が沈着している場合が多く見られます。

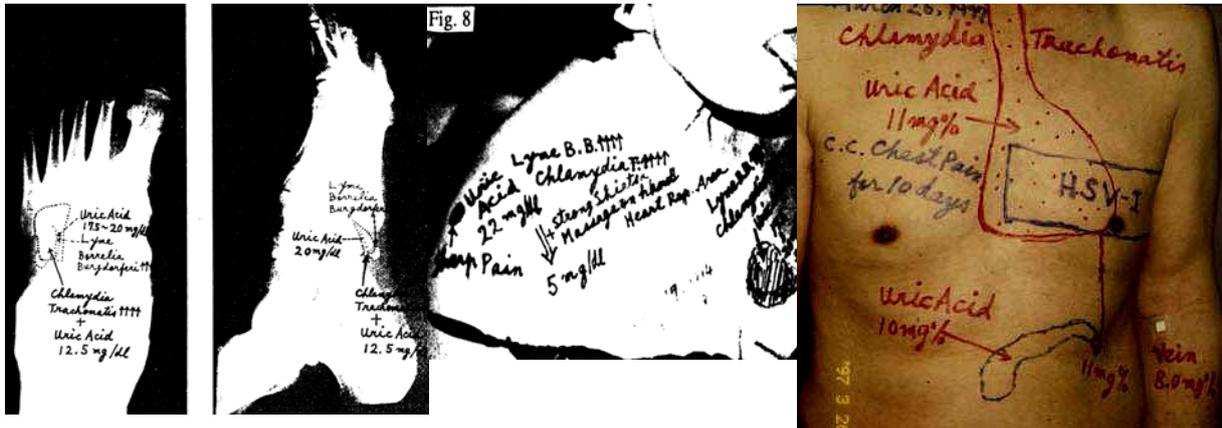


電気治療で **L-Tryptophan** と **Substance P** の領域が減少し、**Serotonin** が増大している例の写真

針治療や電気治療で、ACTH のように抗炎症作用とともに鎮痛作用のある物質が増えたり、 β -エンドルフィン、ダイノルフィン、Kyotorphin (**L-tyrosyl-L-arginine**) 等が増大することも確認されているので、こういう物質をパラメーターとして用いることが重要です。

◎ “Chlamydia- (Lyme)- Uric Acid Syndorome”, “Chlamydia-(Cytomegalovirus)-Uric Acid Syndrome “について

(Omura Yoshiaki & BECKMAN, SANDRA L., Application of Intensified (+) Qi Gong Energy, (-) Electrical Field, (S) Magnetic Field, Electrical Pulses (1~2 Pulses/sec), Strong Shiatsu Massage or Acupuncture on the Accurate Organ Representation Areas of the Hands to Improve Circulation and Enhance Drug Uptake in Pathological Organs : Clinical Applications with Special Emphasis on the “**Chlamydia-(Lyme)-Uric Acid Syndrome**” and “**Chlamydia-(Cytomegalovirus)-Uric Acid Syndrome**”, *Acupuncture & Electro-Therapeutic. Res., The Int. J., Vol.20: pp21-72,1995* 参照) 膝関節や手根骨のトンネル症候群などの痛みや hyperuricemia や痛風の場合は、**Chlamydia trachomatis**, **Uric acid** が共存する場合がよく見られ、慢性の関節痛等の場合は、**Borrelia burgdorferi** も見られ“**Chlamydia-(Lyme)-Uric Acid Syndrome**”と呼ばれている。また、痛みの種類によっては、**Cytomegalovirus** や **Herpes Simplex Virus Type I** の反応する部分と重なる場合も多い。以下に、そのイメージング例を紹介する。



◎ヘルペスファミリーと痛みについて

Herpes Simplex Virus type I (HSV I), Herpes Simplex Virus type II (HSV II), Varicella Zoster Virus, Cytomegalo Virus, Epstein-Barr Virus, Human Herpes Virus Type 6 (HHV6), Human Herpes Virus (HHV7), Human Herpes Virus Type 8 (HHV8 または KSHV)のヘルペスファミリーが感染していると、痛みや高血圧等の原因となります。以下に、イメージング例を紹介します。



◎その他の細菌の感染による痛み

Helicobacter pylori による感染でも痛みの原因となることがあります。

Helicobacter pylori の感染が不整脈の原因となることもあり、それに関連した論文が多数 MEDLINE で検索できます。

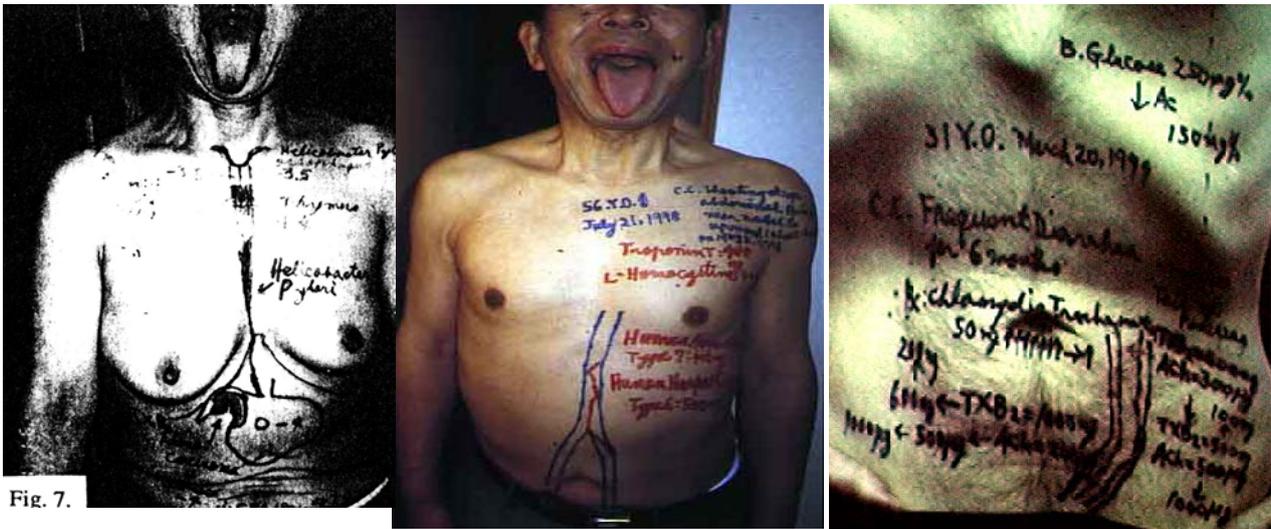


Fig. 7.

| RCS | よく検出される疾患 |
|---|--|
| Borrelia Burgdorferi | アルツハイマー病、心房性細動、パル麻痺（末梢性顔面麻痺）、顔面痙攣、顔面筋痙攣、線維筋痛症、関節炎、ライム病、多発性硬化症、変形性関節症、歯痛、視覚障害 |
| Chlamydia trachomatis Chlamydia pneumoniae | ALS（筋萎縮性側索硬化症）、流産（自然流産）、喘息、心房性細動、血圧、クローン病、糖尿病、下痢、ジストニア、化学物質過敏症、線維筋痛症、頻繁なクシャミ、緑内障（トラコーマ）、網膜色素変性症、頭痛（両側性の）、心臓病、関節炎、不妊症、黄斑変性、僧帽弁逸脱症、多発性硬化症、変形性関節症、脾臓の感染、月経前痛、レイノー病、慢性関節リウマチ、洞アレルギー、クシャミ、横隔膜のけいれん、肋間膜のけいれん、脳卒中、耳鳴、歯痛、三叉神経痛、拡張蛇行静脈、視覚障害 |
| Hg, Pb, Al (中国パセリにて除去) | ALS（筋萎縮性側索硬化症）、流産（自然流産）、アルツハイマー病、自閉症、パル麻痺（末梢性顔面麻痺）、過食症、癌、脳内アセチルコリンの減少、痴呆、ジストニア、電磁波過敏症、化学物質過敏症、関節痛、狼瘡、記憶障害、多発性硬化症、重症筋無力症、骨格筋の麻痺、パーキンソン病、乾癬、強皮症、シェーグレン症候群、耳鳴、片側顔面痛、膈真菌症、(-)Qiの除去 |

| ウイルス | 初感染臨床像 | 再活性化臨床像 | BDORT で検出される疾患 |
|------------------------------|---|--|--|
| HSV I | 初感染の多くは不顕性感染で、顕性、不顕性を問わず初感染後は三叉神経節、仙骨神経節に潜伏感染 | 一般に口唇ヘルペスと角膜炎の原因 | 延髄の心臓代表領域に発生すると、上気道感染、頭部、頸部、あるいは顔面の痛みを伴い、同時に泌尿器生殖器の感染症がある。高血圧の原因ともなる。HSV1 がアルツハイマー病の原因になったり、自律神経失調症との関連等。ベル麻痺、血圧、Dystonia、線維筋痛症、頭痛、難聴、接触性過敏症、難治性顔面痛、歯痛、上顎洞痛、知能発達障害、多発性硬化症、片側面の疼痛、骨格筋の麻痺、ヘルペス後神経痛、レイノー病、带状疱疹、sinus pain、肋間膜のけいれん、脳卒中、痙性斜頸、三叉神経痛、片側顔面痛 |
| HSV II | | 性器ヘルペス、性交で伝達され皮膚病変も生じる陰部など特定の皮膚部位に水疱を生じる（回帰性ヘルペス） | |
| Varicella Zoster Virus (VZV) | 自然宿主はヒトのみで、潜伏感染を起こす。臨床的には2つの異なる疾患、水痘（初感染）と带状疱疹（潜伏感染ウイルスの再活性化）を生じる | 主に経気道を通して感染し、局所のリンパ組織で増殖したのち肝臓や脾臓に達し、全身へ。皮膚に達したVZVは、毛細血管内皮細胞で増殖水痘を発症させる。脊髄後根神経節及び三叉神経節に潜伏感染し、再活性化すると带状疱疹(herpes zoster)となる。 | ヘルペスズスター、带状疱疹、sinus pain, |
| Epstein-Barr Virus (EBV) | 1964年 Epstein と Barr によりアフリカ Burkitt リンパ腫(BL)細胞中より見出されたヘルペス属の DNA ウィルス。常在性ウィルスで、持続感染、再活性化が特徴。EBV は思春期移行の初感染で伝染性単核症(IM)を発症する | 良性疾患：ウィルス関連赤血球貪食症候群(VAHS)、慢性EBV感染症など 悪性疾患：Burkitt リンパ腫、上咽頭癌、Hodgkin 病、鼻リンパ腫(T cell or NK cell)、Natural Killer(NK)白血病、一部の胃がんなど | 焼けるような感じや掻痒感を起こすことがあり、攣縮(単収縮)やFibrillationの原因ともなる。感染性単核細胞症 EB ウィルス感染による腺熱(伝染性単核球症)と慢性疲労症候群の関連を示唆する報告 |
| Cytomegalovirus (CMV) | 日本人成人の約90%以上が抗体陽性である。CMVの初感染は通常不顕性感染として経過し、ウィルスは終生体内に存在する。体内の細胞に潜み、免疫力の低下した状態で再活性化される。 | 後天性感染症ではCMV性間質肺炎は、カリニ性肺炎と同様、移植の予後を左右する感染症である。一方再活性化の場合は、間質性肺炎などで発症し、AIDS患者、悪性腫瘍患者、大量の輸血後などにみられる。健康人にも肺炎、伝染性単核症、輸血後症候群などを起こす。 | 頻繁に起こる攣縮(単収縮)や筋肉の細動の原因ともなる。糖尿病、流産、アカラシア、ALS、アルツハイマー病、自閉症、血圧、食道癌、胃癌、CFS(慢性疲労症候群)、痙攣、Dysphagia、Dystonia、食道逆流、記憶障害、運動障害、多発性硬化症、重症筋無力症、脾臓の感染、骨格筋の麻痺、パーキンソン病、シェーグレン症候群、脳卒中、 |
| HHV 6 | 中枢神経系→脳炎 リンパ節→リンパ節炎 皮膚→発疹 肝臓→肝障害 肺→間質性肺炎 | HHV6及びHHV7の標的細胞:CD4陽性Tリンパ球細胞 移植片拒絶、骨髄抑制 脳炎、間質性肺炎 突発性発疹 合併症(心筋炎・髄膜炎) | 移植片拒絶、骨髄抑制 脳炎、間質性肺炎 突発性発疹 合併症(心筋炎・髄膜炎)※HHV6は、BDORTでの脳の疾患で頻繁に検出される。 インフルエンザ脳炎 CFS(慢性疲労症候群) アルツハイマー病、自閉症、痙攣、Dystonia、子宮内膜症、心臓病、記憶障害、レイノー病、脳卒中、耳鳴、痙性斜頸、拡張蛇行静脈、 |
| HHV7 | | | |
| HHV8 (KSHV) | ? | カポジ肉腫、Primary effusion lymphoma(B細胞性リンパ腫)およびCastleman's disease(多発性骨髄腫の1種)の原因ウィルス | |

RCS 注文票 (FAX 用) FAX:0942(36)1961 まで FAX して下さい。

| | キット名 | キットの内訳 | 枚数 | 価格 | 注文数 |
|----|--|--|----|---------|-----|
| ① | Anti-Enterovirus (type70+71) | ng(400,300,200,100,40,30,20,10,4,3,2,1) | 12 | ¥32,000 | |
| ② | Anti-Rotavirus (ロタウイルス) | µg(400,300,200,100,40,30,20,10,4,3,2,1) | 12 | ¥32,000 | |
| ③ | Growth Hormone(成長ホルモン) | ng(400,300,200,100,40,30,20,10,4,3,2,1) | 12 | ¥32,000 | |
| ④ | Somatostatin (ソマトスタチン) | ng(400,300,200,100,40,30,20,10,4,3,2,1) | 12 | ¥32,000 | |
| ⑤ | Ghrelin (グレリン) | ng(400,300,200,100,40,30,20,10,4,3,2,1) | 12 | ¥32,000 | |
| ⑥ | IGF1 | µg(10,4,3,2,1)+ng(400,300,200,100,40,30,20,10,4,3,2,1) | 17 | ¥40,000 | |
| ⑦ | Acetyl-L-Carnitine | µg(400,300,200,100,40,30,20,10,4,3,2,1) | 12 | ¥36,000 | |
| ⑧ | 8-OH-dG DNA 損傷マーカー | <u>ng(100,40,30,20,10,4,3,2,1)+pg(100,10,1)</u> | 12 | ¥32,000 | |
| ⑨ | Vitamin B12 | <u>ng(100,40,30,20,10,4,3,2,1)+pg(100,10,1)</u> | 12 | ¥32,000 | |
| ⑩ | Folic Acid (葉酸) | <u>ng(100,40,30,20,10,4,3,2,1)+pg(100,10,1)</u> | 12 | ¥32,000 | |
| ⑪ | CA15-3 乳癌の腫瘍マーカー | ng(400,300,200,100,40,30,20,10,4,3,2,1) | 12 | ¥32,000 | |
| ⑫ | CA125 卵巣癌の腫瘍マーカー | ng(400,300,200,100,40,30,20,10,4,3,2,1) | 12 | ¥32,000 | |
| ⑬ | HIV1 (エイズウイルス) | ng(400,300,200,100,40,30,20,10,4,3,2,1) | 12 | ¥32,000 | |
| ⑭ | TSH | ng(400,300,200,100,40,30,20,10,4,3,2,1) | 12 | ¥32,000 | |
| ⑮ | Parathyroid Hormone (1-34) | ng(400,300,200,100,40,30,20,10,4,3,2,1) | 12 | ¥32,000 | |
| ⑯ | Ubiquinone-10(CoQ10) | ng(400,300,200,100,40,30,20,10,4,3,2,1) | 12 | ¥32,000 | |
| ⑰ | GHRF(GrowthHormone Related Factor) | ng(400,300,200,100,40,30,20,10,4,3,2,1) | 12 | ¥32,000 | |
| ⑱ | 8-isoprostane (細胞膜の酸化損傷マーカー)8-epi-PGF2 α | ng(400,300,200,100,40,30,20,10,4,3,2,1) | 12 | ¥32,000 | |
| ⑲ | Tau protein(タウ蛋白) | ng(400,300,200,100,40,30,20,10,4,3,2,1) | 12 | ¥32,000 | |
| ⑳ | DHEA | <u>ng(100,40,30,20,10,4,3,2,1)+pg(100,10,1)</u> | 12 | ¥32,000 | |
| 21 | Leptin(レプティン) New | ng(400,300,200,100,40,30,20,10,4,3,2,1) | 12 | ¥32,000 | |
| 22 | Osteopontin New | ng(400,300,200,100,40,30,20,10,4,3,2,1) | 12 | ¥32,000 | |
| 23 | β-Estradiol | (0.5,1,2,3,4,10) mg | 6 | ¥18,000 | |
| 24 | Testosterone | (0.5,1,2,3,4,10) mg | 6 | ¥18,000 | |
| 25 | Ubiquinone-10(CoQ10) | ng(400,300,200,100,40,30,20,10,4,3,2,1) | 12 | ¥32,000 | |
| 26 | HSV1 (ヘルペス低濃度) | (10 ⁻¹⁰ ,10 ⁻²⁰ ,10 ⁻³⁰ ,10 ⁻⁴⁰ ,10 ⁻⁵⁰ ,10 ⁻⁶⁰ ,10 ⁻⁷⁰ ,10 ⁻⁸⁰ ,10 ⁻⁹⁰ ,10 ⁻¹⁰⁰) | 10 | ¥25,000 | |
| 27 | HSV2 (ヘルペス低濃度) | (10 ⁻¹⁰ ,10 ⁻²⁰ ,10 ⁻³⁰ ,10 ⁻⁴⁰ ,10 ⁻⁵⁰ ,10 ⁻⁶⁰ ,10 ⁻⁷⁰ ,10 ⁻⁸⁰ ,10 ⁻⁹⁰ ,10 ⁻¹⁰⁰) | 10 | ¥25,000 | |
| 28 | Chlamydia trachomatis | (10 ⁻¹⁰ ,10 ⁻²⁰ ,10 ⁻³⁰ ,10 ⁻⁴⁰ ,10 ⁻⁵⁰ ,10 ⁻⁶⁰ ,10 ⁻⁷⁰ ,10 ⁻⁸⁰ ,10 ⁻⁹⁰ ,10 ⁻¹⁰⁰) | 10 | ¥25,000 | |
| 29 | Thromboxane B2 | (10 ⁻¹⁰ ,10 ⁻²⁰ ,10 ⁻³⁰ ,10 ⁻⁴⁰ ,10 ⁻⁵⁰ ,10 ⁻⁶⁰ ,10 ⁻⁷⁰ ,10 ⁻⁸⁰ ,10 ⁻⁹⁰ ,10 ⁻¹⁰⁰) | 10 | ¥25,000 | |
| 30 | Anti-VEGF | (10 ⁻¹⁰ ,10 ⁻²⁰ ,10 ⁻³⁰ ,10 ⁻⁴⁰ ,10 ⁻⁵⁰ ,10 ⁻⁶⁰ ,10 ⁻⁷⁰ ,10 ⁻⁸⁰ ,10 ⁻⁹⁰ ,10 ⁻¹⁰⁰) | 10 | ¥25,000 | |
| 31 | CEA (低濃度) | (10 ⁻¹⁰ ,10 ⁻²⁰ ,10 ⁻³⁰ ,10 ⁻⁴⁰ ,10 ⁻⁵⁰ ,10 ⁻⁶⁰ ,10 ⁻⁷⁰ ,10 ⁻⁸⁰ ,10 ⁻⁹⁰ ,10 ⁻¹⁰⁰) | 10 | ¥25,000 | |
| 32 | PSA (低濃度) | (10 ⁻¹⁰ ,10 ⁻²⁰ ,10 ⁻³⁰ ,10 ⁻⁴⁰ ,10 ⁻⁵⁰ ,10 ⁻⁶⁰ ,10 ⁻⁷⁰ ,10 ⁻⁸⁰ ,10 ⁻⁹⁰ ,10 ⁻¹⁰⁰) | 10 | ¥25,000 | |
| 33 | CA15-3 (低濃度) | (10 ⁻¹⁰ ,10 ⁻²⁰ ,10 ⁻³⁰ ,10 ⁻⁴⁰ ,10 ⁻⁵⁰ ,10 ⁻⁶⁰ ,10 ⁻⁷⁰ ,10 ⁻⁸⁰ ,10 ⁻⁹⁰ ,10 ⁻¹⁰⁰) | 10 | ¥25,000 | |
| 34 | CA125 (低濃度) | (10 ⁻¹⁰ ,10 ⁻²⁰ ,10 ⁻³⁰ ,10 ⁻⁴⁰ ,10 ⁻⁵⁰ ,10 ⁻⁶⁰ ,10 ⁻⁷⁰ ,10 ⁻⁸⁰ ,10 ⁻⁹⁰ ,10 ⁻¹⁰⁰) | 10 | ¥25,000 | |
| 35 | Orexin-A New | ng(400,300,200,100,40,30,20,10,4,3,2,1) | 12 | ¥50,000 | |
| 36 | Cortisol New | ng(400,300,200,100,40,30,20,10,4,3,2,1) | 12 | ¥32,000 | |

※ ここに記載されていない低濃度(pg, fg, ag, zg, yg)や(10⁻¹⁰,10⁻²⁰,10⁻³⁰,10⁻⁴⁰,10⁻⁵⁰,10⁻⁶⁰,10⁻⁷⁰,10⁻⁸⁰,10⁻⁹⁰,10⁻¹⁰⁰)g も作成可能です。必要な先生は、余白にお書き下さい。

御名前 _____ 御職業 _____

住所 〒 _____

施設名 _____

TEL: _____ FAX: _____ e-mail : _____